

大雨の降る寒い1日、花園中と関越高速の間に位置する花園保育園にお呼ばれして、行って楽しんできました。

早いもので、もう50回にもなるのです、6人で試行錯誤の日々でした、衣装、出し物、振り付け、スケジュールの調整、練習等大変でしたが、やっと、軌道に乗ってきた感じです。自然に役割が発生してこなして



いけるようになりました。仲間の絆には感謝です。驚きです。

所で、この保育園、元気がありました。見てくれたのは60名位の3才～6才かわいい子供達、時間が25分位だったのでまずは挨拶、続いて「基本」……見たこともない事なので真剣に飽きないで見っていました。もちろん手拍子もありました。

次に、「これな～に」

さっき見たものが出て来るし、自分の想像の範囲を超えるぐらいの…楽しい答えを出してくれました。

私たちが考えているよりも、もっと幅広く想像外の回答で感心しました。

面白かった、と言うべきか、困ったのは、私たちが狐と思っているのに、どうしても狐の回答が出



てこない？何が違うのでしょうか？耳かな？わかりません。

なるほど…今の子供は知っているんだ？と感心したのは、神社やご門を理解している事。

多分地域にお祭りや神社仏閣があるのでしょうか。自然に見て、行っているのでしょうか。

このような形で新しい刺激を貰うこともあるのですね。

次に「手品」

何処に行っても喜ばれます。新聞に透明な水を入れ赤い水を出すもの、扇子で上からタッチすると100円玉が出て来るもの・・・ここでIさん大慌て・・・

この100円玉を取ろうとする子供が現れて、ネタがばれるので急いでおしまい。



最後はKさん、子供たちの記憶には凄いものがあるのでうってつけの出し物。黄色と赤のひもが一瞬にして上下入れ替わるもの、大喜びでした。 何度も繰り返しました。

公演も終了し、お別れの挨拶で次の第二花園保育園に移動しました。

その時来年9月の公演依頼があり、お受けいたしました。

(記: 難波 道子)

